

令和5年度加古川市女性防火クラブ研修大会 を実施します！

主催	加古川市少年女性防火委員会、一般財団法人日本防火・防災協会
日時	令和5年12月3日（日）午前10時から 正午 まで
場所	加古川市防災センター2階大会議室
内容	<p>岡田市長、前島保安防火協会会長等の来賓をお招きし、女性防火クラブで一年間学んだ成果を発表するとともに、有識者による講演会により防火・防災意識の高揚を図るものです。</p> <p>日時 令和5年12月3日（日）10時から12時まで 場所 加古川市防災センター2階大会議室</p> <p>内容 【第1部】修了式 あいさつ、修了証交付、消防長感謝状贈呈、来賓祝辞、来賓紹介、体験発表</p> <p>【第2部】講演会 講師：名古屋大学名誉教授 あいち・なごや強靱化共創センター長 福和 伸夫 氏</p> <p>演題：「温故知新で南海トラフ地震を乗り越えよう」</p> <p>参加費無料</p>
対象（参加者）	加古川市女性防火クラブ員ほか
定員	約150名
目的・背景 その他	クラブ員への修了証交付のほか体験発表、有識者による講演受講により、防火・防災意識の高揚を図ることを目的としています。
市ホームページ	掲載予定（12月4日）
広報かがわ	掲載しない



令和5年度 加古川市女性防火クラブ研修大会

と き 令和5年12月3日(日)
10時から12時まで
ところ 加古川市防災センター2階大会議室



主 催 加古川市少年女性防火委員会
一般財団法人 日本防火・防災協会
協 力 加古川市消防本部
加古川市保安防火協会



研修大会プログラム



司 会 加古川市女性防火クラブ連合会

副会長 高瀬 則子

開会の言葉 加古川市女性防火クラブ連合会

幹事 八代醍土岐子

◆第1部◆ 修了式（10：00～10：40）

1 あいさつ

加古川市少年女性防火委員会
加古川市女性防火クラブ連合会
加古川市消防長

会長 岸本 正子
君野 正則

2 修了証交付

代表受領：西神吉女性防火クラブ

会長 神吉 幸代

3 消防長感謝状贈呈

八幡女性防火クラブ

副会長 秋田 郁代

4 来賓祝辞

加 古 川 市
加古川市保安防火協会

市長 岡田 康裕
会長 前島 克彦

5 来賓紹介

6 体験発表

氷丘女性防火クラブ

興津 久代

◆第2部◆ 講演会（10：50～11：50）

講 師 名古屋大学名誉教授

あいち・なごや強靱化共創センター長 福和 伸夫 氏

演 題 「温故知新で南海トラフ地震を乗り越えよう」



令和5年度 全国統一防火標語

『火を消して
不安を消して
つなぐ未来』

◇ プロフィール ◇

1957年生まれ、名古屋市出身。名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長、工学博士。81年3月名古屋大学大学院工学研究科修了。同年大手建設会社入社。91年名古屋大学に転じ、2022年4月より現職。専門は、建築耐震工学、地震工学、地域防災。

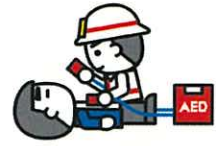
早期の耐震化を強く訴え、防災の国民運動作りを率先。「自然災害は防ぐことは出来ないが、その被害を減らすことはできる」という信念のもと、研究のかたわら、耐震教材を多数開発し、全国の小・中・高等学校などで「減災講演」を続けている。巨大な建物を実際に揺らすことのできる世界に類をみない研究・展示施設、名古屋大学「減災館」はその結集とも言える。

現在は中央防災会議防災対策実行会議に設置された「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」の主査を務めている。その研究と指導は高く評価され、日本建築学会賞や防災功労者内閣総理大臣表彰など多数受賞。

主な著書 『次の震災について本当のことを話してみよう。』 時事通信社
『必ずくる震災で日本を終わらせないために。』 時事通信社

謝 辞 加古川市女性防火クラブ連合会 幹事 原 幸子

加古川市女性防火クラブの活動



昭和 54 年に設立して以来、家庭や地域の防災意識を高めることを目的に、各種消防教室による学習、住宅用火災警報器の設置促進、救命講習の受講、消防出初め式・防災フェスタ、その他防火防災広報活動をおこなっています。



救命講習（加古川市防災センター）



施設見学（野島断層保存館 語り部講演）

住宅用火災警報器



住宅用火災警報器は適切に設置されていますか？

加古川市消防本部と加古川市女性防火クラブ連合会は、住宅火災からの逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器の設置を市民の皆さまに呼びかけています。

今年もニッケパークタウンで住宅用火災警報器の普及啓発活動を行いました。



住宅用火災警報器普及啓発活動（ニッケパークタウン）